

英国自動人形展

🇬🇧 オートマタ・アナログの美

「グリーンボール」
ポール・スプーナー&マット・スミス



「バスタブの山羊」
ポール・スプーナー&マット・スミス

「未来からきたライダー」
キース・ニューステッド



©Paul Spooner
©Matt Smith
©Keith Newstead



「備ったミルク」
ポール・スプーナー&マット・スミス



「最後のドーデー」
ポール・スプーナー&マット・スミス

2018年8月3日[金] - 9月30日[日] ※会期中無休

開館時間：午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）

入館料：一般1,000円（4枚セット券3,000円）／大学生800円／高校生500円／中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 後援：中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

関連イベント

記念
講演会

8月19日(日) 午後2時～
講師：橋爪宏治氏(現代玩具博物館・館長)

パラミタ
コンサート

9月16日(日) 午後2時～ からくり人形が「能」を舞う
能管：玉野宮夫 / 薩摩琵琶：細川華鶴子

paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com
http://www.paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

パラミタミュージアム 検索

英国自動人形展

オートマタ・アナログの美

オートマタとは西洋のからくり人形のことです。それらは木材・紙・針金・真鍮など身近な素材を用いつつ、高度な技術によって生み出されます。なかでもイギリスの作家ポール・スポーナー(1948~)は現代を代表するオートマタ作家として活躍し、世界的に高い評価を受けています。彼の作品は、皮肉やユーモアをこめた日常の不条理がテーマとなっており、愛嬌ある見た目とは裏腹に深いテーマ性を秘めています。そしてオートマタの仕組みは一見単純に見えますが、実はその仕組みがスムーズに機能すること自体が一つの奇跡と言えます。

本展はこのポール・スポーナーの作品を中心に、マット・スミス、キース・ニューステッド等の手によるオートマタ、さらに関連作家の参考作品など、合わせて約140点をご紹介します。

ユーモラスな人形たちの表情や動き、アナログ的な仕組みの面白さなど、魅力あふれる作品の数々をお楽しみください。



「オンボロ自転車レース」
マット・スミス



「マーメイド」
キース・ニューステッド



「釘打は難しい」
ポール・スポーナー&マット・スミス



「手荒いもてなし」
ポール・スポーナー&マット・スミス



「アヌビスの手品」
ポール・スポーナー&マット・スミス



「山羊とピアノ」
ポール・スポーナー&マット・スミス



「鶏の値段」
マット・スミス

©Paul Spooner ©Matt Smith ©Keith Newstead

次回展示のお知らせ

会期 平成30年10月5日(金)~12月2日(日)

笠間日動美術館・三重県立美術館コレクション 近代西洋絵画名作展—印象派とエコール・ド・パリ—

19世紀後半から20世紀にかけて、フランスを中心に展開した美術界の変革はその後の近代芸術の行方を切り開く画期的な出来事でした。印象派をはじめフォーヴィスム、キュビズムなどそれまでの数百年にわたる芸術の常識を覆し、新しい時代の幕開けを告げたのです。本展では笠間日動美術館の西洋画コレクションより魅力あふれる作品を選ぶとともに、三重県立美術館の協力を得て、近代ヨーロッパを代表する巨匠たちの作品80点あまりを一挙に展示します。

■お車をご利用の場合/東名阪「四日市IC」より国道477号(湖の山街道)を湖の山方面へ約6.5km。■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合/近鉄「四日市駅」下車、近鉄湖の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。■全館バリアフリー、車椅子貸借

